

平成19年度 第35回岐阜県高等学校選抜バスケットボール大会 (兼第38回全国高等学校選抜優勝大会県予選会)

男子展望

今大会は新人大会・県総体と2大会連続で優勝している岐阜農林が優勝候補の筆頭である。主将の小栗寛道、個人能力の高い木村拓貴を軸に、勢いのある下級生たちが成長しておりコートを縦横無尽に駆け回るバスケットを展開するであろう。対抗には、2大会連続で準優勝の岐阜総合学園があげられる。下級生主体のチームであるが、非常に高い得点能力をもつ田代高之を中心にスピーディーで攻撃的な展開は今大会も健在である。県総体3位の斐太、4位の岐南工業はともに上背はないが粘り強く頑張るチームでありおもしろい存在である。県総体ベスト8の中津川工業・長良・大垣南・美濃加茂とどのチームも実力は均衡しており、どの試合も熱戦が繰り広げられることが予想される。

Aブロック・第1シードの岐阜農林が最有力である。対抗には、粘り強いディフェンスから速攻が信条の中津川工業があげられる。順当に行けばこの2校でベスト4を懸けて戦うであろうが、中濃地区総体で優勝している可児工業はおもしろい存在である。

Bブロック・第2シードの岐阜総合学園が有力である。対抗には、長身センターを擁する美濃加茂があげられる。この2校がベスト4を懸けて戦うであろう。

Cブロック・第3シードの斐太は新チームであるが、水谷直規を中心に機動力をいかしたバスケットで上位を狙う。対抗には、新人大会ベスト4の大垣南、速攻を得意とする高山西、岐阜地区富田にも注目したい。

Dブロック・第4シードの岐南工業が上位を狙う。対抗には、長良があげられる。順当に行けばこの2校がベスト4を懸けて戦うであろう。

女子展望

岐阜女子が選手層の厚さ・個々の能力の高さで群を抜いている。全国高校総体において準優勝という素晴らしい成績を収め、その立役者の伊藤恭子・水谷佳代・茅谷由季子が健在でありつづけている隙は見あたらず優勝候補の筆頭である。対抗には、チーム力が高く粘り強い県岐阜商・新人大会準優勝の高山西・外角シュートを得意とする岐阜総合学園があげられるが、岐阜女子相手にどこまで食らいついていけるか期待したい。

Aブロック・第1シードの岐阜女子が圧倒的な強さでベスト4に進出するだろう。対抗には、基本的に忠実なバスケットをする関商工があげられる。

Bブロック・第2シードの県岐阜商が最有力である。対抗には、多治見西があげられる。

Cブロック・第3シードの高山西が安定した戦いでベスト4に進出するだろう。対抗には、長良・大垣商・岐阜農林があげられるが厳しい戦いになるだろう。

Dブロック・第4シードの岐阜総合学園が有力である。対抗には、加茂本郷があげられる。順当に行けばこの2校がベスト4を懸けて戦うであろう。